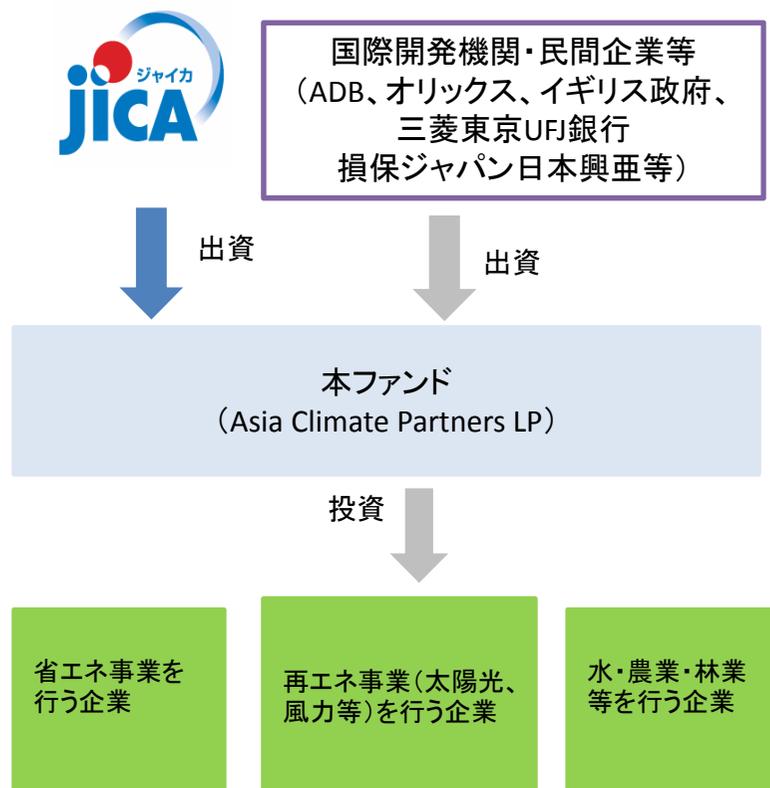


Asia Climate Partners LP (海外投融資 出資事業)

【事業の概要】

アジア諸国において再生可能エネルギー、クリーンテクノロジー、天然資源利用の効率化、水資源、農業、林業等の事業分野で、環境や社会に貢献しうる企業に本ファンドを通じ投資を行うことにより、気候変動対策の促進を図り、アジア諸国における持続的な経済成長に寄与するもの。

【事業の意義】



1. アジア地域における気候変動対策の促進

- ✓ 人口増加や都市化が進むアジアは2030年には世界全体に占める二酸化炭素総排出量の約5割を排出すると見込まれており(IEAによる推計)、アジアにおける低炭素成長の実践が世界全体の気候変動対策において重要。
- ✓ 本ファンドではアジア地域において省エネ・再生可能エネルギー等の事業を行う企業への投資を行い、アジア地域における気候変動対策の取組の裾野拡大を目指す。

2. アジア開発銀行(ADB)との連携を通じた途上国向け気候変動ファイナンスの拡大

- ✓ 日本政府が発表した「質の高いインフラパートナーシップ」の第二の柱である「ADBとの連携」を推進する案件。
- ✓ ADBとの連携を通じてアジアにおける質の高いインフラ整備を今後も支援。

3. 日本の民間企業との連携による官民連携での取り組み

- ✓ 本ファンドは、オリックス株式会社が運営に携わり、株式会社三菱東京UFJ銀行、損害保険ジャパン日本興亜株式会社も参画しており、日本の官民連携を通じたアジアの気候変動対策のプラットフォームとしても機能。